

**令和 7 年度 第 2 回高浜市人にやさしい街づくり及び障害者施策審議会
議事録**

日時：令和 8 年 3 月 19 日（木）

15 時 30 分～17 時 00 分

場所：いきいき広場 多目的ホール

1 開会

- ・ 資料確認
- ・ 委員交代の報告

2 あいさつ

- ・ 野口会長挨拶
- ・ 杉浦市長挨拶（挨拶後公務のため退室）

3 報告

- (1) 高浜市障害者地域自立支援協議会の活動状況について

【資料 1～4】

（事務局より資料説明）

・ **委員**

○資料 1-2 のサービス事業所部会について、事業所は市内にどれだけあって、この会議にどのくらい参加されているのか、数が知りたい。

・ **事務局**

○事業所の数は 20 ほどである。毎回全事業所が参加できるわけではないが、おおよそ 10 位の事業所が集まって取り組みをされている。

・ **委員**

○資料 1-5 の地域生活支援拠点部会の件だが、事業所は登録制であり、高浜市でも登録依頼をして進めていこうということであるが、市内の事業所だけか。

・ **事務局**

○市内の事業所だけである。地域生活支援拠点は各市で設置することになっている。もし、市外だと、そちらの、例えば碧南だと碧南市の事業所でやり取りをしていただく形になっている。

4 議事

(1) 高浜市障がい者福祉計画等のアンケート調査結果について

【資料3、報告書（当日配布）】

（事務局より資料説明）

・会長

○大変貴重なアンケート結果を詳しく説明をいただきました。感想としては、やはりコロナの影響が大きいと感じた。まだ克服できていないということ。やはり大変なことであつたと感じている。

○このアンケート結果と委員の皆さんの実感との差なども含め意見等をお聞きしたい。いかがか。

・委員

○かなり詳しい資料であり、数値化されており、説明も丁寧だったので、よくわかった。

○この資料には載っていないが、私どもの事業所には、不適切な言い方かもしれないが、グレーの方がやっぱりいらっしゃって、生活困窮してて、例えば高齢の父母と本人が40～50代で手帳が取れない方もいるが、そういう方についても福祉の事業所等が担っていく仕事だと思っている。昨年度と一昨年度、そういう方を受け入れてある一定期間、就労訓練とか挨拶だとか、その方の生活リズムを整えて、一般就労なり、パートで働く形に持ってくた方もいるので、そういう方は高浜市をはじめ全国にもたくさんいると思うので、受け入れ先として私どもはあるとも思っている。

○周知というか、制度を知らない人がたくさんいると思う。そういう人について、なんとか支援できないかと思いがあるので、ぜひ広めていただけたらと思う。

・会長

○8050問題もあるし、これからは就労の機会をどれだけ作っていくことができるかというところは非常に重要だと思う。この辺りをこのデータの中からでも読み取ることができると思うので、この辺りも計画の中にしっかりと位置づけていきたいと思う。

・事務局

○若干補足する。委員からお話があったような事例は、その保護者の方から相談が来るようなケースが多い。子どもが何年も働いていなくて、ずっと家にいて困っているというところで、親からの発信でケースが浮かび上がることが最近が多い。

・委員

○感想としては、回収率が低かったので本当にちょっと残念だと思った。

○今回、きょうだい児について新しく入れていただいたのは本当にありがたい。子どもは知らないうちに、気づいたらヤングケアラーだったということがある。それで、今日は学校の先生はいないが、そういうお子さんには先生が少し配慮し、気にかけていただけると本当にありがたい。このアンケートでも、半数以上の方はやはり気づいていないというか、きょうだいだから仕方がないという感じでみてると思うが、後々大きな問題というか、悲しい思いをしてるということがわかってきたので、ぜひ学校の先生にもそういうことをお伝えいただけたらありがたい。

・委員

○令和元年に目標値を立てられて、その目標値が令和7年、直近にどうなったかというところだと思うが、会長がおっしゃられたようにコロナの影響がすごく大きかったと思うし、アンケート対象も同じ人ではないので、数値は簡単に良くなるということが、これを見た実感である。少し目標の作り方に無理があったように思われる。

○結果はこうなってしまったが、私としては福祉施策も令和元年に比べると随分進んでいる。特に先ほど就業の話もあったが、法定雇用率も年々上がってきて、企業も障がいのある人の受け入れに積極的にならざるを得ない。あるいは就労継続支援B型とかA型とか、徐々に増えてきていることもあり、良くなってきていると思うし、その結果が38ページあたりで、正社員として働いているとか、通所支援サービスか、そういったところの結果に出ており、良くなってきていると思う。

・会長

○貴重なご意見ありがとうございます。やはり委員が言われたように、コロナ禍で状況が一変してしまったというところもあるので、指標を引き続き継続していくべきなのかどうかも含め、来年の計画策定時に各委員から意見をいただきながら、指標の設定を考えていきたい。

○貴重なデータなので、この後、調査結果を読み込んでいただいて、これからの計画づくりの中で言及していただければ、それに基づいて政策やあるいは事業に生かしていけると考える。

(2) 令和8年度のスケジュールについて

【資料5】

(事務局より資料説明)

・会長

○第6次障がい者福祉計画と第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画を今回は一緒に作成していくことになる。各計画の住み分けを明確にすべきである。また、目標数値と

いうのも非常に重要な指標になるので、この部分もしっかり議論して形にしていきたいと思う。

○それから、障がいのある方達の地域での生き方が重要であり、満足度などを高めていくようにすべきである。また、地域における偏見、差別がなくなるように、考え方や意識の問題のところまでも十分に織り込んだ計画にしていきたいと思う。理想はやはり高く持たなければならない。そのような計画づくりを心がけていきたいと思うので、皆さんのご協力をぜひともお願いしたいと思う。

・委員

○思いというところで、高浜市内のトイレに大型ベッドは設置してありますか？もしないようであればぜひ1箇所は設置してもらいたい。医療的なケアで必要な人もいるので、どこか1か所（ユニバーサルシートの）設置をお願いしたい。

・会長

○能登半島地震の時に、避難所で障がいのある方も含めてトイレの確保が求められていた。このアンケートの中にも出ていたが、トイレの確保がニーズとして上がっている。たしか輪島市だったと思うが、トイレを自治体でいくつか購入して、あるいは自治体間で共同で購入して、避難所などにすぐに持っていけるようにしているところもある。

・委員

○大型ベッドだったら、赤ちゃんでも大人でも誰でも使えるし、着替えをする時でも障がいのある人も着替えやすいと思うので、少なくとも1か所は欲しい。

・会長

○一般の避難所でも、トイレはみんなが使うから重要である。防災部会もあるし、新市長は防災に力を入れると言っておられるから前向きに検討してほしい。自治体として、近隣市と一緒に整備することも検討すべきである。

・事務局

○自立支援協議会の防災部会にも、市の防災担当職員がメンバーに入っているので、今回のご意見も検討できる。

・委員

○反映させて、数値目標に入れほしい。

・委員

○例の“恵”の不正請求問題があったせいで、グループホームの報酬単価は下げられている。

他の施設長さん達と話すのだが、どこもグループホームは減益で、四苦八苦している。一番しんどい仕事にやってるのに、報酬を下げられて、物価高で人件費も上げなければならない状況の中で、グループホームを新規で作っていくというのは非常に厳しい。補助金等を出していただくようなシステムにしていかなないと、グループホームのニーズがあっても対応できない。これが続くようなら、グループホームの住みたいという方の意向が家族も含めて達成できない状況になってくので、なんとかその辺を支援いただければと思う。

・事務局

○市の財政状況が厳しい中で、市単独の補助っていうのはすぐには難しい。したがって、市として支援できることとしては、担い手のところで、人材育成、確保の支援が考えられる。細かい研修を独自にやらなくても、市で共通であれば研修費とか負担するような制度等は考えられる。それを活用してやっていただく等、本当に微々たるものであるが、そういったところでの支援は可能かと思う。こうした協力は引き続きさせていただければと思う。ご理解いただきたい。

・会長

○今の自治体の財政の中で補助というのは難しいと思う。だから、例えば「地域連帯税」みたいな新しい制度を導入すべき。福祉関連の財源が削られようとしている時に、こういう新たな税金が必要である。消費税が下げられてしまうと福祉の方に回ってこないということもある。そこのところは全然取り上げられないが、減税ばかり言われていて、財源、財政をどうやって保障していくかというのは、やはり今の地方自治体の財政とは別のところで考える必要がある。

5 その他

(窓口・電話の受付時間の変更について事務局より説明)

6 閉会

以 上